

広 報

みなみふらの



11



南富良野町公式 LINE に登録して、
カラー版広報誌を見てみよう
お持ちのスマートフォンで読み取ってみましょう!!

2026.NOVEMBER No.848

お餅が楽しみです! 「稲刈り体験」
(南富良野西小学校)

(9月15日)

上半期財政事情

「財政事情の作成及び公表に関する条例」の定めにより、令和8年度上半期（4月1日から9月30日まで）の予算執行状況をお知らせします。

総務課財政係 ☎52・2112

まちの予算規模は？

全会計の予算総額は
62億9,034万9千円

9月30日現在の一般会計予算額は、48億8,456万9千円で、当初予算から9億6,854万6千円増加しています。これは、今年度の当初予算が骨格予算で編成されており、3月の町長選挙後に補正予算を行ったためです。主な内容は、道の駅再編事業、道路改良事業、公営住宅改修事業、防災行政無線整備事業などです。

また、4つの事業会計予算の合計額は7億6,501万9千円で、当初予算から1,380万6千円の増加、簡易水道事業会計は3億3,222万1千円で、当初予算から4,800万円の増加、公共下水道事業会計は3億3,754万円で当初予算から1億2,000万円増加しており、全会計を合わせた本年度の予算総額は62億9,034万9千円となっています。

■一般会計の執行状況

収入は・・・

一般会計の予算額と収入済額・支出済額の内訳は、【表1】のとおりで、予算額に対して9月30日までに収入した割合は、48.9%で、中でも地方交付税は予算額25億5,923万7千円に対し、収入済額は18億6,900万6千円で収入全体の約7割を占めています。

また、道の駅再編事業などの財源に充てる国庫支出金は、事業が完了してから交付されるため収入割合は16.1%、同じく町有林整備などの財源に充てる道支出金の収入割合は23.9%となっており、町税の収入割合は64.2%、道の駅再編事業や道路改良事業などの財源に充てる町債（借金）は、来年3月以降に借入れるため、9月30日までの収入はありません。

【表1】一般会計予算の執行状況（令和8年9月30日現在）

歳 入	予 算 現 額	48 億 8,456 万 9 千円	歳 出	予 算 現 額	48 億 8,456 万 9 千円
	収 入 済 額	23 億 8,699 万 9 千円		支 出 済 額	18 億 6,237 万 7 千円
	収 入 割 合	48.9%		支 出 割 合	38.1%

収入		支出	
25 億 5,923 万 7 千円	地方交付税 (73.0%)	10 億 7,069 万 9 千円	総 務 費 (25.3%)
18 億 6,900 万 6 千円	町 債 (0.0%)	4 億 3,090 万 4 千円	教 育 費 (42.6%)
7 億 2,340 万円	国庫支出金 (16.1%)	5 億 8,586 万 9 千円	公 債 費 (51.0%)
2 億 937 万 9 千円	諸 収 入 (15.0%)	5 億 5,041 万 1 千円	民 生 費 (43.1%)
3,365 万 8 千円	町 税 (64.2%)	2 億 3,718 万 7 千円	商 工 費 (30.9%)
1 億 4,413 万 9 千円	繰 入 金 (0.0%)	1 億 1,884 万 2 千円	職 員 費 (47.7%)
2,165 万 1 千円	道 支 出 金 (23.9%)	3 億 8,485 万 1 千円	土 木 費 (29.3%)
3 億 1,332 万 3 千円	使用料及び手数料 (38.9%)	6 億 6,450 万 9 千円	農 林 産 業 費 (26.4%)
2 億 104 万 2 千円	そ の 他 (47.0%)	5 億 8,376 万 8 千円	そ の 他 (57.0%)
2 億 6,534 万 7 千円			
0 千円			
1 億 8,572 万 1 千円			
4,439 万 0 千円			
1 億 2,506 万 4 千円			
4,870 万 4 千円			
3 億 5,895 万 9 千円			
1 億 6,854 万 8 千円			

() は予算に対する収入・支出割合

支出は・・・

幾寅工業団地線道路改良工事などを含む土木費の支出済額は1億7,099万円です。予算額に対する支出割合は29.3%、借金を返済する公債費の支出済額は2億9,888万7千円で51.0%、また、特別職と一般職員の給与や手当を支払う職員費の支出済額は3億1,727万7千円で47.7%となっています。

一般会計全体の予算額に対する支出割合は38.1%で、前年度同期の39.0%より0.9%低く推移しています。

特別会計の執行状況

一般会計とは別に健康保険や介護保険、町立診療所などの事業を行う特別会計の予算額と収入済額・支出済額は【表2】のとおりとなっており、特別会計全体の予算額に対する支出割合は36.5%で、前年度同期の33.8%より2.7%高く推移しております。

公営企業会計の執行状況

令和6年度から開始しました公営企業会計の予算額と収入済額・支出済額は【表2】のとおりとなっており、公営企業会計の予算額に対する支出割合は22.7%で、全年度同期の24.8%より2.1%低く推移しています。

前年度からの繰越予算

このほか、一般会計の前年度予算のうち事業費を翌年度に繰り越した住民

基本台帳システム及び戸籍附票システム改修業務委託事業や物価高騰支援事業などの繰越予算が3,004万5千円あり、これらの事業に充てる財源は国庫補助金ですが、事業が完了していないことから収入はありません。支出済額は1,739万7千円で支出割合は57.9%となっています。

繰越予算と本年度の全会計予算を合わせた町全体の予算総額は63億2,039万4千円となり、収入済額は28億7,485万5千円で収入割合は46.2%、支出済額は23億4,200万3千円で支出割合は36.5%となっています。

◆町税の収入状況（令和8年9月30日現在）

税 目	予 算 現 額	収 入 済 額	収 入 割 合
町 民 税	1 億 4,896 万 5 千円	8,625 万 6 千円	57.9%
固定資産税	1 億 3,735 万 8 千円	9,878 万 7 千円	71.9%
軽自動車税	754 万 0 千円	766 万 0 千円	101.6%
町たばこ税	1,926 万 2 千円	825 万 3 千円	42.8%
鉦 産 税	19 万 8 千円	8 万 7 千円	43.9%
合 計	3 億 1,332 万 3 千円	2 億 104 万 3 千円	64.2%

【表2】各特別会計予算及び公営企業会計予算の執行状況（令和8年9月30日現在）

特別会計	歳入	予算現額	7億6,501万9千円	歳出	予算現額	7億6,501万9千円
		収入済額	3億1,205万5千円		支出済額	2億7,916万0千円
		収入割合	40.8%		支出割合	36.5%
公営企業会計	歳入	予算現額	5億4,426万2千円	歳出	予算現額	6億4,076万1千円
		収入済額	1億7,580万1千円		支出済額	1億4,526万9千円
		収入割合	32.3%		支出割合	22.7%

5億円

4億円

3億円

2億円

1億円

予算現額

収入済額

1億円

2億円

3億円

4億円

5億円

2億9,366万1千円

1億885万4千円

5,595万9千円

1,647万2千円

3億738万3千円

1億3,936万2千円

1億801万6千円

4,736万7千円

国民健康保険事業

(37.1%)

(36.4%)

後期高齢者医療事業

(29.4%)

(26.6%)

介護保険

(45.3%)

(41.7%)

町立診療所事業

(43.9%)

(27.2%)

2億9,366万1千円

1億676万7千円

5,595万9千円

1,487万6千円

3億738万3千円

1億2,815万0千円

1億801万6千円

2,936万7千円

5億円

4億円

3億円

2億円

1億円

【公営企業会計】

1億円

2億円

3億円

4億円

5億円

2億3,690万6千円

9,582万6千円

3億735万6千円

7,997万5千円

簡易水道事業

(40.4%)

(22.2%)

公共下水道事業

(26.0%)

(23.1%)

3億322万1千円

6,735万1千円

3億3,754万0千円

7,791万8千円

()は予算に対する収入・支出割合

() は予算に対する収入・支出割合

秋の恵みと感謝の一日

道の駅南ふらの感謝祭を開催

9月26日、「第5回道の駅南ふらの感謝祭」が開催され、町内外から多くの来場者で賑わいました。

町民の皆様や道の駅を利用するお客様へ日頃の感謝を込めて開かれるイベントで、今年も地域の魅力にあふれる一日となりました。

オープニングでは、南富良野高等学校吹奏楽部による演奏が行われ、力強い音色が道の駅に響き渡りました。また、同校による出店もあり、バタじゃがに塩辛を添えた一品やおでんなどを、生徒たちが元気に販売しました。

道の駅全店舗を対象とした「お楽しみ大抽選会」は空くじなしで、景品は協賛各社などから提供された1000本以上。会場は大いに盛り上がりました。

さらに、町内農家による「軽トラ市」も同時開催され、ジャガイモやタマネギ、カボチャなど、南富良野の秋の恵みが並びました。

住民と観光客が交流し、笑顔あふれる温かな雰囲気包まれた感謝祭。地域のにぎわいづくりに大きく貢献するイベントとなりました。



48色の個性と歌声が響く!!

第22回南富良野中学校学校祭開催

9月19日、南富良野中学校で第22回学校祭が開催されました。今年のテーマは「今しかない思い出を作る時〜48色のbig palette〜」です。

生徒たちは、夏休み前から脚本や台本の準備を進め、2学期に入ってから学校祭特別日課の中で練習を重ねてきました。今年も(株)スミタの太田竜介さんから演劇指導を受け、本番に向けて表現を磨いてきました。1年生の劇「シン・桃太郎」、2年生の「今日は何の日?」、3年生の「排除投票」が披露され、



それぞれの学年が工夫を凝らした舞台で会場を盛り上げました。

また、吹奏楽やバンド、ダンスなどの有志発表に加え、各学年代表による英語発表や意見発表も行われました。

最後は、全校生徒による混声三部合唱「この星に生まれて」で締めくくられ、生徒たちの歌声が会場いっぱいに響きました。

仲間と協力しながら一つのものをつくり上げる姿や、それぞれが自分らしさを発揮する姿が随所に見られ、テーマのとおり一人ひとりの色が輝く学校祭となりました。

いつまでもお元気で!!

長寿を祝うひととき

南富良野町敬老会開催

9月25日、町主催による敬老会が保健福祉センターみなくるで開催されました。

町内各地区から75歳以上の高齢者85名と来賓9名が出席し、長寿を祝う和やかなひとときを過ごしました。

式典では、高橋町長と町議会の酒井議長から、長年にわたるご労苦への感謝と長寿を祝う言葉が贈られ、出席者を代表して町老人クラブ連合会の河野高好会長が謝辞を述べました。

祝宴では、町民生委員児童委員協議会の後藤健壽会長による祝盃



の発声に始まり、幾寅保育所・金山保育所年長組による可愛らしいお遊戯や、千里大学による器楽演奏が披露されました。続いて、本町出身の演歌歌手・石上久美子さんによる歌謡ステージが行われ、会場は大きな拍手と笑顔に包まれました。

最後は、町社会福祉協議会の上林康政会長による万歳三唱で締めくくられ、出席者は料理を味わいながら世代を超えた交流と祝福の時間を楽しみました。

敬老会の開催にあたり、ご協力いただいた各関係団体の皆様に心より感謝申し上げます。

小学校・中学校・高等学校で「1日防災学校」を実施

平成28年8月に経験した豪雨災害を心に刻み、しっかりと未来に引き継ぐため、8月31日の「南富良野町防災の日」の取り組みとして各学校で防災教育の授業が行われました。



「南富良野西小学校」

9月3日、南富良野西小学校で「ひなん所のTKBってな～に？」をテーマに、防災学校が行われました。町防災マネージャーが、避難所で特に課題となるトイレ・キッチン（食事）・ベッド（睡眠）について講話が行われました。

その後、体育館で段ボールベッドや仮設トイレ、テントの設営を体験。児童たちは実際に組み立てながら使い方を確認し、災害時の避難所生活に必要な備えについて学びました。

南富良野町公式アカウントの登録をお願いします

南富良野町公式アカウントの登録をお願いします。Instagram、Facebook、X（旧 Twitter）、LINE を活用して、南富良野町の魅力や最新情報をお届けしています。町内の皆様にはLINEを通じて生活に役立つ情報を発信しています。Instagram、Facebook、Xでは、町外の方々に向けた南富良野町の素敵な情報を共有しています。ぜひご登録ください。

また、SNSの使い方やスマートフォンに関するお困りごとについてのご相談も承っています。何かご不明点があれば、お気軽にお問い合わせください。



LINE



Instagram



facebook



X

※町ホームページにも (<https://www.town.minamifurano.hokkaido.jp/>) 二次元コードを載せていますので、ご覧ください。

ごみの出し方についてのお願い

町役場では、ごみの収集を分別ごみごとに曜日を決めて収集しています。最近収集をしている中でごみ収集日を守られていない事例が散見しております。クマなどの野生動物等にごみが荒らされるおそれがあります。被害を未然に防ぐため、必ず指定された日の朝にごみステーションへ出してください。

ごみステーションは町と町民の方との共有施設です。

STOP !! ごみの早出し !!

～ 皆様のご協力をお願いします ～ ごみ収集カレンダー



問い合わせ先：建設課環境衛生係 ☎ 52 - 2179

地域おこし協力隊活動記 34

本町では、10名の「地域おこし協力隊」が町の振興や発展のため活動しています。その活動内容や様子を町民の皆さんに紹介します。

しばさき ゆうこ 柴崎 優子 隊員（訪問介護支援員）

皆様こんにちは、協力隊の柴崎優子です。

早いもので、こちらに来てから1年と7ヶ月程になります。協力隊活動記も3回目となります。

協力隊の活動では、平日の介護支援を中心に、買い物や掃除などの生活支援を行っています。支援の際には、体調や普段の様子を伺い、いつもと違う変化がないか気を配り、気になることがあればケアマネジャーへ報告しています。

私生活では、実家の家庭菜園で妹がさつま芋を植えていて、一緒に芋掘りをして来ました。昨年も植えてましたが、生育がそれ程でもありませんでした。でも、それなりに出来、干しいもを作ってくれ、それがとても美味しく感動しました。今年は、もっと



沢山出来るようにと、土に工夫を凝らし、肥料や土を変えたりしてくれました。そのせいか、昨年以上に良い出来となりました。家庭菜園なので、それ程多くは出来ませんが大満足です。これから1ヶ月程、乾燥させ、食べるのを楽しみにしております。

埼玉に住んでいた頃は、庭のない所に住んでいて、家庭菜園等出来る環境ではありませんでした。こちらに来て、土にふれ、花も植えたりして充実していると感じてます。これから紅葉も見られますので、短い秋を楽しんで行きます。

人権擁護委員に米木 厚子 さんが再任

令和5年10月から人権擁護委員としてご活躍いただいている米木厚子さん（幾寅）が、この度再任され、10月1日付で法務大臣から委嘱され、引き続きご活躍いただくことになりました。

人権擁護委員は、人権の啓発運動をはじめ、いじめや差別・誹謗中傷などの人権に関わる相談活動を、法務局と連携を図りながら行っています。

相談は無料で、個人の秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

人権擁護委員 幾寅 米木 厚子 TEL 52 - 2028



町議会定例会 行政報告・教育行政報告

令和8年9月16日に開催されました第3回定例会において、高橋町長が6件の行政報告と鈴木教育長が7件の教育行政報告を行いましたので、内容についてお伝えします。

行政報告

区観測所で92.0mm、金山区観測所で63.5mmを観測しました。

町内の被害状況については、町道では東幾寅パイロット線外4路線において路盤の砂利が流出したほか、浅野神社線外1路線で農地から流出した土砂が町道に堆積するなどの被害が確認されました。

この度の町道路盤流出の被害は、農作物の収穫期を迎えた緊急を要する対応が必要なことから、被害に対する復旧費用について、今定例議会にて補正予算措置を講じてまいります。

防災安全室関連

■8月24日から大雨による被害状況について

8月24日夜から25日正午にかけて、道内では前線を伴った低気圧が通過した影響で、本町では24日午後6時14分到大雨注意報と土砂災害注意報が発表され、25日午後1時までの24時間降水量が幾寅地

■被災10年復興防災イベントについて

8月29日に保健福祉センター及び道の駅で開催いたしました「被災10年復興防災イ

ベント」についてであります。

平成28年8月31日、本町に甚大な被害をもたらした水害から10年が経過する節目を迎えることから、あの日の教訓を風化させないよう振り返る機会にすると共に、まちの復興と賑わい創出に取り組むま

ちの姿を、多くの方々に周知することを目的としたところであります。

展や流水体験、防災資機材、防災車両を展示したほか、北海道防災航空室による防災ヘリ救助展示、自衛隊第14施設群と町内の自衛隊協力会女性部並びに赤十字奉仕団の合同による炊出しなどを実施しました。

天候にも恵まれ、多くの町民の皆様にも会場に足を運んでいただき、10年前の被害とその後の復旧・復興を振り返り、MIZBEステーションを活用した今後のまちづくりについて周知する機会となりました。

産業課関連

■農作物の生育状況について

9月1日現在の農業委員会による農作物の作況調査によりますと、主要作物の作況指数は、そばは「147」、小

豆が「140」、春小麦が「132」、秋小麦が「130」、てん菜が「128」、大麦が「110」、大豆が「108」で「良」、生育期の天候にも恵まれたことにより収量が多い見込みであり、メロン、



9月1日に実施した作況調査

玉ねぎは「105」、人参は「102」で「やや良」、かぼちゃは「101」、水稻・馬鈴しょ・大根・アスパラ・スイートコーン・ミニトマトは「100」で、作柄はそれぞれ「並」となり、生育が順調であると判断されました。

本年は、春先の雪解けは早かったものの、播種作業時期に低温や降雨などから作業の遅れはありましたが、その後は天候の回復から生育は順調に進んだものと考えております。月によっては、降雨が続

き日照不足の影響や干ばつによる影響も心配されたところでありますが、大きな影響もなく平年並以上の収量が確保されるものと考えております。

また、収穫期を迎えている作物については、今後の状況に注視してまいります。

建設課関連

■建設工事の進捗状況について

本年度の建設工事につきましては、政策予算として6月の議会定例会において補正予算により措置させていただき、順次、入札並びに発注事務を進めているところであります。

工事の進捗状況は、スキー場口ツジ屋根防水工事が既に完成しているほか、幾寅工業団地線道路改良工事などの土木工事7件、公営住宅東団地改修工事などの建築工事2件、幾寅地区簡易水道機械計装設備更新工事などの設備工事4件につきましても、工期内の完成に向け順調に工事が進められております。

また、落合西団地屋根外壁改修工事につきましても、北海道より公営住宅等長寿命化計画の変更が承認されましたので、今後、工事を発注し、年内に完成するよう取り進めてまいります。

■道道石勝高原幾寅線の改良工事について

道道石勝高原幾寅線の改良工事についてであります。

国道38号線との交差点から幾寅栄町に至る区間については、旧幾寅原野9号踏切付近が急勾配となっており、交通上の課題となっており、交通であります。JR根室線の廃止に伴って踏切が撤去されたことから、次年度以降、勾配を緩和する工事を実施することをお話しを北海道からいただきました。

工事の詳細等につきましても、北海道より調査設計の結果が示され次第、改めてご報告させていただきます。

企画課関連

■リゾート開発計画について

インドネシアを拠点に、国際的な不動産・開発・ライフスタイル領域で総合的な事業を展開する企業グループ「VR Group Asia」より、昨年の秋、本町内における長期滞在型リゾート開発について打診がありました。

当該企業グループは、海外で25年にわたりリゾート開発の実績がありますが、日本への進出は今回が初であり、本町のほか道内1町が候補地に挙がっているとのことであり

ます。本町の豊かな自然環境、特に湖と山が織りなす景観や、四季を通じて楽しめるアクティビティが、起業グループの求めるリゾートイメージと一致したものであります。また、「企業やゲストだけでなく、地域にも利益をもたらす取り組みを作りたい」との考えのもと、インターネット環境があれば場所に縛られずに働く「デジタルノマド」層をターゲットとした、長期滞在

型リゾートの事業可能性が非常に高いと評価をいただいております。

こうした中、本年2月にオンライン等で意見交換を重ね、本年4月2日には「LOI（条件付き意向表明書）」を締結いたしました。このLOIは、幾寅の内藤地区から東鹿越の南台に至る広範囲な、リゾート構想を進めるにあたり、開発ありきではなく、まずは「どのようなリゾートの可能性があるのか」を探るための初期的な準備に向けたものであり、協力体制の確立や、相互の責務、秘密保持などを定めたもので、原則として法的拘束力を有しないものであります。

また、去る6月15日には、グループCEO（最高経営責任者）であるハーブマイナー氏や北海道プロジェクト地域連携担当者ら4名が来町され、スキー場や、かなやま湖を含む東鹿越地区の現地視察を行い、その後、意見交換を行ったところであります。

現段階では、具体的なリゾートコンセプトやマスター

プランは未定であります。それらを策定するための調査を、今後、企業側と協力しながら取り進めてまいりたいと考えております。

また、協議の過程において、当該企業グループからはスキー場の運営も視野に入れているというお話もいただいております。本年1月末に発生した第2リフトの索条脱索に伴うリフトの架け替え問題も含め、スキー場の今後の在り方と併せながら、リゾート開発の可能性について慎重かつ積極的に協議を進めてまいります。



国設南ふらのスキー場

教育行政報告



■令和8年度全国学力・学習状況調査結果について

小学6年生と中学3年生を対象に毎年4月に実施している全国学力・学習状況調査の結果について報告いたします。

全国・全道との平均比較では、小学生は国語で全国・全道平均を上回り、算数では、全国平均を下回ったものの全道平均を上回りました。

また、中学生は国語で全国・全道平均を下回りましたが、数学・英語（聞くこと・読むこと・書くこと）で全国・全道平均を上回る結果となりました。

りました。

今回の調査結果をもとに課題を検証し、教科毎の改善策に取り組み、児童生徒一人ひとりの学力の定着と向上に努めてまいります。

■沖縄県本部町親善交流事業について

6月29日から7月3日までの4泊5日の日程で、第34回目となる沖縄県本部町との親善交流事業を実施しました。

本年度は、町内小学校2校の6年生全員となる24名と、随行者6名の計30名が、「南の国の真夏に挑む体験の旅」交流団として南富良野町を出発し、初日の歓迎会では平良町長をはじめ多くの関係者の皆様から温かい歓迎を受けました。

翌日からは、真っ青な空と強い陽ざしの中、マリント体験や瀬底小学校との交流学习、海洋博公園見学など、本部町での様々な体験を通して、生活文化の違いや自然環境を感じ取っていました。

また、毎年、「全戦没者追悼式」が行われる糸満市で「ひめゆりの塔」をはじめ「平和の礎」や「平和祈念資料館」を見学し、平和の尊さを実感していました。

本年1月に本町を訪れた本部町児童との再会を待ち望んでいたホームステイでは、各家庭で貴重な一夜を過ごし、児童どうしの交流に留まらず、保護者を交えたファミリー交流としても、友好の和が広がったところがあります。

この事業で得られた経験を今後の学校生活はもとより、将来の自己実現に活かしていただき、本部町との交流が途絶えることなく、深い絆となっていくことを期待するところであります。

■南富良野中学校部活動大会成績について

中学校の部活動についてありますが、去る6月19日から中体連上川南部地区の球技大会が各担当地区で開催され、南富良野中学校からは、野球・ソフトテニスと近隣中学校と合同で編成したバレーボールの計3種目に出場しました。大会成績につきましては、野球が惜しくも準決勝で敗れ3位となり、ソフトテニスでは、男子・女子ペアの各1組が上川代表決定戦に駒を進め、練習の成果が発揮された接戦となりましたが、惜しくも2回戦進出はかたがたありませんでした。

各競技において、生徒たちは日々の練習で培った技術と精神力を最大限に発揮し、特に3年生は最後の大会としてチームをけん引していました。

また、野球部につきましては、2年生主体の新たなチーム体制となり、去る8月8日に富良野市で開催された第18回全日本少年春季軟式野球大会（ENEOS トーナメント）富良野支部予選において樹海中学校との合同チームで見事に優勝し、富良野支部代表として、9月5日から7日にかけて同市で開催された北北海道大会（全道大会）に出場いたしました。

たしました。

試合は、6日に市民球場で行われ、惜しくも初戦で敗れましたが、チーム一丸となり、持てる力の全てを遺憾なく発揮していました。

■1日防災学校等の実施について

8月31日の南富良野町防災の日になみ、中学校・高等学校において継続して取り組んでいる、1日防災学校を実施いたしました。

南富良野中学校では、防災マネージャーの指導のもと、避難所の開設や炊き出し訓練等を実施いたしました。

南富良野高等学校では、防災検定や避難所で起こる様々な出来事を模擬体験する避難所運営ゲームのほか、消防の協力を得て地震による火災発生を想定した避難訓練を全校生徒で実施いたしました。

本町の豪雨災害から10年が経過し、当時の様子を記憶する児童生徒や教職員なども少なくなってきました。

ますが、被災地となった経験や教訓を風化させることなく、地域全体で防災意識を高めるため、継続した取り組みを実施してまいります。

■南富良野高等学校の事業等の取組について

南富良野高等学校の事業等の取組について報告いたします。

初めに、学校祭については7月10日・11日に実施し、生徒数の増加とともに保護者や地域の方々の来校も

徐々に増え、会場となった体育館は例年以上に大勢の観客で賑わい、生徒たちは

高校生活の一大行事である学校祭を満喫していました。

また、PTAバザーの焼き鳥等の販売では、本年度も町内有志の方々のご協力

により、学校祭を盛り上げていただき、恒例となつて

いる打ち上げ花火では、来場者とともに夜空を見上げ、夏のひと時を楽しんでいました。

令和9年度の入学生徒募集に向けた取り組みについ

ては、学校案内パンフレットを更新して、7月から富良野沿線のほか日高町、幕別町、帯広市内の中学校31校、更には、札幌市内の中

学校96校と近郊の江別市、恵庭市、北広島市、千歳市、新たに石狩市を含めた34校、

旭川市内26校の計187校を訪問し、各中学校の校長や教頭、進路指導の教員に

対し学校紹介を行い、中学3年生に対するパンフレットの配布を依頼しました。

また、9月1日に高校で開催された見学説明会では、町内をはじめ富良野沿線や

旭川市、札幌市、千歳市などから生徒38名と保護者36名が参加していただき、在

校生のプレゼンテーションによる学校紹介や授業見学、

キャンプ用テントの設営体験、部活動紹介などが行われ、高校生が主体となつて

対応する座談会では、中学生や保護者からの質問に対し丁寧の説明していました。

更に、8月21日には南富良野中学校及び南富良野高校の生徒をはじめ、町民の

皆さんや高大連携協定を結んでいる札幌国際大学の学生が参加して、今回で3回目となる「次世代育成プロジェクト」が高校を会場に開催されました。高校生と

大学生の交流や札幌国際大学 齊藤修教授の「歴史文化を活かした観光による地域

づくり」を演題とした講演を受けた後、8グループに分かれ「夏のスキー場の活用方法」をテーマに意見を

交換し、各グループから様々な活用案が発表され、町内の中高生が自ら地域の活性化について考える良い機会になりました。

■南富良野高等学校の部活動大会成績について

8月1日から兵庫県豊岡市で開催された全国高等学校総合体育大会カヌー競技に、カヤック200m女子

の部二人乗りで出場した1組が、インターハイでは初

となる決勝進出を果たし、8位入賞の好成績を収めました。

また、カヌー部につきま

しては、7月に開催された国民スポーツ大会北海道予選において、インターハイで入賞した女子選手を含め、男子7名・女子3名の10名が、10月15日から青森県において開催される第80回国民スポーツ大会カヌー競技に北海道代表として出場が

決定しておりますので、この大会においても好成績が期待されるところであります。

■小中高生を対象とした特別授業の実施について

9月4日に、芸術文化にふれあう機会づくりの一環として、札幌市出身で「ショッピングモールの歌姫」として注目を集めている「半崎美子」さんをお招きし、午前と午後の2部制で特別授業を実施しました。

午前の部は、高校体育館において、南富良野小学校4年生から6年生児童52名、中学校全校生徒47名、高校全校生徒58名の他、各学校の教員及び観覧を希望する保護者・町民を含めた約

210名が集まり、午後の部は、南富良野西小学校体育館において、全児童13名と教員や観覧を希望する保護者・町民を含めた約50名により実施しました。

特別授業では、2024年度に小学5年生の音楽教科書に掲載された自身の楽曲「地球へ」を題材に、児童・生徒との対話を通じて、夢を持ち続けることの大切さや、歌詞の意味を考えながら豊かな感性を持つことの大事さに触れながら進め

られ、心に響く素晴らしい歌声で会場を魅了していました。

本授業を通じて、子どもたちが普段の学校生活や座学では得られない体験や生きた学びを知る機会となり、かけがえのない貴重な経験になりました。

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（☎ 52-2115）（FAX 52-2922）までお知らせください。

カメラレポート

CAMERA REPORT

かなやま湖で満喫！カヌー体験会を開催 (9月12日、26日)

9月12日と26日、かなやま湖で高校カヌー部と町教育委員会によるカヌー体験会が開催されました。両日も定員15名が満員となり、参加者は湖上でカヌーの魅力を楽しみました。当日は講師に加え、カヌー部の生徒たちも参加し、パドルの持ち方やこぎ方などを丁寧に指導。

初めてカヌーに乗る参加者も、生徒たちのサポートを受けながら水上での操作に挑戦しました。また、競技艇の体験も行われ、かなやま湖の自然の中でカヌーの楽しさに触れました。



春に植えた稲を収穫！ 西小学校で稲刈り体験 (9月15日)

西小学校の児童が、下金山の永井洋平さんの水田で稲刈りを体験しました。児童たちは、春に自分たちで植えた「はくちょうもち」の稲を鎌で一束ずつ丁寧に刈り取り、収穫の喜びを味わいました。

田植えから成長を見守ってきた稲を自らの手で収穫し、米づくりの大変さや食への感謝を学びました。刈り取った稲はその日のうちに学校グラウンドのジャングルジムに掛けて乾燥させました。脱穀後、12月のもちつき集会で使われる予定です。



次世代育成プロジェクトの 成果を町長に報告 (9月17日)

南富良野中学校3年の瀧勇斗さんと南富良野高校3年の阿部悠翔さんが役場を訪れ、「次世代育成プロジェクト」の成果を高橋町長に報告しました。

8月に行われたプロジェクトでは、「夏のスキー場の活用方法」をテーマに、中学生、高校生、札幌国際大学の学生、地域住民がグループワークを実施。花畑やジップライン、山頂カフェなど、南富良野の自然や景観を生かしたアイデアを出し合いました。

2人は、世代を超えて意見を交わした経験や、地域について考える中で得た気づきを町長に伝えました。高橋町長は「これからもさまざまなことにチャレンジし、その時々を経験を大切にしてほしい」と激励し、今回出された意見も今後大切にしていきたいと述べました。



議場で学ぶ南富良野高校生 町議会模擬体験学習

(9月18日)

南富良野高校3年生が役場を訪れ、町議会について学ぶ議会学習を行いました。生徒たちは、町議会の歴史や役割、議会の仕組みについて説明を受けた後、実際の議場を見学しました。

議場では、議会事務局職員の指導を受けながら模擬議会を体験。生徒が議長や町長、議員などの役を担当し、高校の卒業旅行など身近なテーマについて意見を交わしました。実際の議会と同じ場で役割を演じながら議論することで、議会の進め方や地域の意思決定の仕組みを身近に学ぶ機会となりました。



旗の波運動を実施 地域で交通安全を呼びかけ

(9月24日)

秋の全国交通安全運動に合わせ、町内で旗の波運動が行われました。参加者は道路沿いに並び、交通安全の旗を掲げながら、通行するドライバーにスピードダウンや安全運転を呼びかけました。

秋は日没が早まり、夕暮れ時の交通事故にも注意が必要な時期です。活動を通して、ドライバーや地域住民が改めて交通安全への意識を高める機会となりました。



森の恵みを体感 ピュアポテトの森で環境学習

(10月7日)

南富良野小学校の3年生13名が「ピュアポテトの森」で森林環境学習を行いました。上川総合振興局南部森林室富良野事務所、南富良野町森林組合、町産業課の指導のもと、児童たちは安全な作業方法を教わりながら、のこぎりを使って木の伐採を体験しました。実際に木を切る作業を通して、森林の役割や木材として活用されるまでの流れについて学びました。

また、伐採した木を使った工作にも挑戦し、木の手触りやぬくもりを感じながら作品を制作しました。森林と人の暮らしとのつながりを、体験を通して身近に学ぶ機会となりました。



英会話教室のお知らせ

楽しく英語に触れてみませんか？

「英語を話してみたいけれど、なんだかむずかしそう ...」

そんなふうに思っていないですか？

教育委員会では、みんなで楽しく英語に触れ合える「英会話教室」を開催しています！

特別な事前知識や難しい勉強は不要です。身近なフレーズなどを使いながらアットホームな雰囲気の中でワイワイ楽しく英語を学んでみませんか？

年末が近づくにつれ、帰省や旅行などで外国からの旅行者と触れ合う機会も多くなってくるこの時期。12月の教室でも、楽しく英語に触れ合える内容をご用意しています。

初心者の方も、お友達同士でのご参加也大歓迎です。皆様のご参加をお待ちしております。

場 所：南富良野町役場 大会議室

開 催 日：12月1日・8日・15日

開館時間：18:30～19:15

対 象：南富良野町民または町内の学校に通学する児童・生徒

※小学生以下の方が参加する場合は、保護者が送迎付添願います。

受 講 料：月額 1,000 円

講 師：外国語指導助手 リスカ・レイナ・マリ 氏

申 込 先：南富良野町教育委員会 生涯学習係（TEL 52-2145）

公民館図書館から新刊のご紹介

「永遠の記憶」著者：東野 圭吾

人気の「ガリレオ」シリーズ最新作であり、登場人物たちが歩んできた時間の重みを感じさせる心揺さぶる長編小説です。

物語は、刑事・内海薫が何者かに襲われるという衝撃的な事件から始まります。犯人は高齢の老人で、取り調べでは一切口を割らない。

その背後で見え隠れする「過去の事件」と、人物たちが下す「究極の選択」とは何なのか。

単なる謎解きにとどまらず、人と人との繋がりや記憶のあり方を深く考えさせられる一冊です。



南富高新聞

第114号

発行
南富良野高等学校

「地域とともに歩む」

晴れ渡る秋空の下、南富良野高校の1・2年生が白雲山への軽登山を実施いたしました。当日は絶好の登山日和となり、山頂からは澄み渡る然別湖の絶景を一望することができました。

今回の登山にあたっては、「どころ野外学校」の皆様から専門的なガイド協力をいただきました。また、1年生には今回が初めての本格的な登山となる生徒も多かったため、事前に学校運営協議会の山名賢様をお招きし、登山の基本や心構えについてのレクチャーを受けて本番に臨みました。

道中は、仲間同士で会話を弾ませながら楽しく登る姿が見られました。昨年度に旭岳への登山を経験している2年生からは、「去年より楽に感じる」と頼もしい声も聞かれました。途中で足を取られて転倒する生徒もあり、決して気を抜ける安全な道ばかりではありませんでした。が、参加したほとんどの生徒が見事に登頂を果たしました。

苦しい登りを乗り越えて山頂に立った生徒たちの顔には、大きな達成感と笑顔があふれていました。眼



下に広がる然別湖の素晴らしい景色を前に、生徒たちからは「きれい！」「気持ちいい！」「あそこで釣りたい」「ここから帰りたい」といった素直な歓声が次々と上がっていました。

南富良野高校では、学校設定科目「アウトドア」などを通して、豊かな北海道の自然から直接学び、感性と生きる力を育む教育を行っています。

これからも地域に根ざし、北海道の豊かな自然を生かした「唯一無二の魅力ある高校」として、生徒・教職員が一丸となって邁進してまいります。今後とも南富良野高校の教育活動へのご理解と、温かいご支援をよろしくお願いいたします。

シリーズ 学校だより

235

各学校の取り組みを紹介します。

▶▶▶南富良野西小学校▶▶▶

▼がっこうマンを探せ

「夏休みが終わっちゃったな...」そんな少し重たい気持ちも一吹き。2学期の初日、開校10周年記念キャラクターとして児童が考案した「がっこうマン」のイラスト百体を、校内から探し出す「宝探しイベント」を児童会本部が実施し、校内は子どもたちの笑顔と歓声で包まれました。これは、本校が今年度大切にしている「子どもの主体性と創造性を育む活動」の一つです。その日の中休み、低・中・高学年に分かれて、イベントがスタートしました。児童会役員が工夫を凝らして仕掛けた「がっこうマン」は、目立つ大物から「こんなところに!？」という隠れ名人のような小さな一枚まで様々。宝探しそのものの面白さに加え、他学年と競い合う熱気も相まって、子どもたちは夢中で校内を駆け回りました。



数日後の結果発表で見事優勝に輝いたのは高学年。しかし順位以上に、子どもたち自身の手で全校児童が心から楽しめる企画を作り上げたことこそが、何よりの大きな成果です。前期児童会本部は、活動の締めくくりとして次の新しい企画も練っているとのこと。「学校に行くのが楽しみ!」と思えるようなアイデアに期待が膨らみます。

10月からは後期の児童会へバトンタッチします。11月7日(土)には、大きな行事である「学芸会」があります。子どもたちの「やってみたい!」という思いを大切に、一人ひとりが自信を持って輝き、大きな達成感を得られるステージを目指します。

当日はぜひ学校へ足をお運びいただき、生き生きと活躍する子どもたちの姿をあたたく見守っていただければ幸いです。

冬のはじまり、2つの危険に要注意

～ヒートショック・インフルエンザ対策～

11月から冬にかけては、寒暖差による入浴中の事故やインフルエンザなどの感染症に注意が必要です。家庭でできる予防策を確認して、安全・健康に冬を過ごしましょう。

①ヒートショックとは？

暖かいリビングから寒い脱衣所への移動や、いきなり熱い湯に入るなど、急激な温度変化によって血圧が大きく上下に変動し、心臓や血管に大きな負担がかかることで起こります。そのため心筋梗塞や脳出血などの発症リスクが上がってしまいます。

特に高齢者の方は、
冬の入浴時の事故に注意しましょう



安全に入浴するためのポイント

1. 入浴前に脱衣所や浴室を暖めてからお風呂に入る
2. 湯温は 41℃ 以下に設定し入浴時間 10 分を目安にする
3. 浴槽から急に立ち上がらない
4. 食後すぐや飲酒後の入浴は避ける
5. 入浴前に家族などに声をかける
6. 体調が悪い時は無理に入浴しない

②インフルエンザの予防

インフルエンザは、発熱、頭痛、関節痛・筋肉痛、全身のだるさなどが比較的急速に現れるのが特徴です。手洗い・換気・咳エチケットなどの基本的な感染対策を行い、必要に応じてワクチン接種を検討しましょう。体調が優れない時や発熱・咳などの症状がある場合は、部屋の換気をこまめに実施し、人混みを避けて必要に応じて医療機関に相談するようにしましょう。

感染対策のために行う6つの行動



消毒しよう



うがいをしよう



手を洗おう



マスクをしよう



換気をしよう



うちで過ごそう

こんなときは迷わず 119 番

意識がない・反応がない、普段どおりの呼吸がない／おかしいなど、緊急性が高い場合は 119 番通報してください。

南富良野支署出動件数（令和8年9月末日）

○救急出動	102 件（うちドクターヘリ要請件数	7 件）
○火災出動	1 件（うち他市町村応援出動	1 件）
○救助出動	4 件	

子育て支援センター「ぷっこ」だより

☎ 52-2315

～☆★明るく元気な子に育ちますように☆★～

子育て支援センター ☎ 090-5985-4339

秋も深まり、そろそろ冬の足音が聞こえてきそうですね。おうち時間が長くなるので、親子でゆっくり読書はいかがでしょうか。支援センターの絵本はもちろん、みなくなる2階の図書室にも足を運んでみてください。



☆ぷっこクラブ（くるみ園訪問）

おばあちゃん達と、紙芝居を見たりゲームをして仲良くなりました。



☆ぷっこクラブ（ぶどう収穫体験）

秋晴れに恵まれたぶどう収穫体験。ぶどうもおいしかったけど、バッタの親子もみつけたよ。



☆パパぷっこ

お休みの日のパパと元気に参加。タオルで綱引き、力くらべ！どっちが勝ったかな？



☆交流会

産後ママが2か月ぶりに支援センターに遊びに来てくれました。みんなにここに、いい笑顔。

保育園の元気な子どもたち

幾寅保育所

年少組・年中組さんと金山小果樹農園さんに遠足に行きました。ぶどう狩りを楽しみ、口や手が紫色になるほどたくさん食べていた子どもたちでした！お昼には、お家の人が作ってくれたお弁当を見せ合いっこしながらもりもりと食べ、お腹もいっぱいになり楽しい遠足でした！



金山保育所

幾寅保育所と合同でお遊戯会練習を行いました。遊戯、楽器演奏、劇と初めてのことだったり、覚えることがたくさんありましたが、本番で大きくなった姿を披露できるように、一生懸命練習を重ねてきました。セリフや踊りなど少しずつ上達し、自信を持って取り組む姿が見られるようになりました。



★町内会に加入しましょう★

町内会は、住民みんなで協力して地域をより快適で住みやすくするための活動をしています。お祭りやゴミステーションの清掃、防災活動、そして子どもたちや高齢者のサポートまで、暮らしのあらゆる場面で関わっています。

町内会に参加することで 温かい人間関係が築けたり、地域の課題をみんなで解決できます。

地域の絆をさらに深め、より良いまちづくりにつながります！ぜひ町内会に加わってみませんか？



問い合わせ先：企画課広報統計係 ☎ 52 - 2115

町ホームページで求人情報を掲載しています

町民の皆さまや移住希望者へ向け、町ホームページで求人情報を掲載しています。

フルタイム／パートタイムの種別ごとにまとめているので、お仕事を探されている方はぜひご覧ください。

◎掲載場所 右記の二次元コードを読み込みご覧ください。

町ホームページ＞移住・定住情報＞3. お仕事

ホーム右下（スマートフォンの場合は下部）のバナー欄にも掲載しています。



寄附・寄贈

次の方々から寄附・寄贈がありました。
皆さんのご厚志に対し紙上をもって厚く
お礼申し上げます。

一味園・からまつ園・ござくら園へ

○幾 寅 高 橋 かつえ 様

○札幌市 丹 羽 博 巳 様

○北広島市 鳴 海 美 妃 様

○浜中町 三 膳 ともみ 様

○富良野市 (福) 富良野あさひ郷 様

○大樹町 山 内 艸太郎 様

○当麻町 櫻 田 憲 三 様

☆お誕生おめでとう

幾 寅 日向 穂^{みのり}

令和8年9月2日生まれ

★お悔やみ申し上げます

落 合 大 町 チエ子 (81)

令和8年9月21日逝去

幾 寅 加 藤 哲 夫 (91)

令和8年9月22日逝去

落 合 渡 邊 美 幸 (50)

令和8年9月22日逝去

🏡 わたしたちのまち

(令和8年9月末日現在)

人 口 2, 129人 (△10)

男 1, 070人 (△6)

女 1, 059人 (△4)

世帯数 1, 273戸 (△5)

() 内は前月比